



久米島町ゼロカーボンシティ宣言

近年、日本をはじめ世界の環境は悪化の一途を辿り、特に地球温暖化が原因と見られる台風の巨大化や局地的豪雨の多発など、気候変動は私達の生活や社会活動に大きな影響を及ぼしており、その対策は不可欠なものとなっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされ、また、この目標達成に向け、国からは、地方自治体や民間企業、NPO等の主体による取組の重要性が示されました。

久米島町においても、「第2次久米島町総合計画基本構想」で掲げる「次世代のための島づくり」の実現と、先人たちが守り、育んできたこの豊かな自然環境を未来につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、実現に向け取り組みを進めることをここに宣言します。

令和3年1月22日

久米島町長 大田 治雄